

平成30年6月1日

会員の皆様へ

福祉住環境コーディネーター協会  
会長 竹下 隆夫

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より当協会の活動につきましては、種々ご理解ご協力を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。

福祉住環境コーディネーター協会は、2002年（平成14年）5月、「福祉住環境コーディネーター検定試験」の合格者による全国規模の団体として、会員のスキルアップや相互交流・情報交換などを目的に設立され、今日に至るまで約16年の長きにわたりまして、多くの会員、役員、地域の関係団体などのご支援・ご協力のもと活動を展開して参りました。

この間、全国のFJCが中心となって地域に密着する形で、活躍人材の育成・スキルアップや、多彩な専門家のネットワークづくり・交流機会の創出、あるいは高齢社会対応の新規事業立ち上げなどを行うNPO法人や団体・グループが各地に誕生し、実績をあげながら地域内での存在感を増してきたことは協会としても喜ばしい限りです。

しかし、その一方で、協会への加入より地域団体への加入を優先する方が増加し、また内容が重複する協会のセミナー・交流会等は、開催回数・参加者数の減少が止まらず、協会としての財政・事業規模は縮小の一途を辿っております。

この事態について我々は設立以来協会が担ってきた一定の役割を終えたのではないかと感じております。加えて、近年の会員数の減少を背景に、協会財政も著しく逼迫し、改善の見込みが立たないこと、このままでは近々債務超過に陥る恐れがあり、関係各方面に多大な迷惑をかけることにもなりかねない状況を懸念いたしております。

以上のようなことから、理事会と致しましては、平成31年3月末をもって協会を解散する旨を、臨時総会（開催時期：平成31年3月頃）に提案することを決議いたしました。

しかしながら、これまでのように協会が企画・実施する事業に期待するという会員の方もいらっしゃると思います。そこで、来年度以降、引き続き福祉住環境コーディネーターとしてのスキルアップやネットワークづくりの機会を求める会員の皆様には、一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会（ふくせん）をはじめとする、協会と同様の事業を実施している、あるいは実施できる関係団体をご紹介してまいりたいと思っております。

ちなみに、「ふくせん」におかれましては、FJC協会の会員向けに新しい会員資格（FJC会員）を設けて、全国規模で充実した体制のもと、豊富なサービスメニューを提供して頂けることになっております。6月のふくせん総会にて詳細が決定した暁には、速やかに皆様にご案内したいと思っております。

5月29日に開催いたしました平成30年度通常会員総会におきまして、先に記しましたように、FJC協会としては来年3月に開催予定の臨時会員総会におきまして、解散のご提案をさせていただくというご報告をさせていただきました。

平成30年度は、通常総会でご承認いただいた事業計画を着実に実施するとともに、逐次新しい情報をお伝えしてまいります。会員の皆様におかれましては、協会の活動に深いご理解とご協力を頂いており、感謝に堪えません。ぜひ、今回の協会の決断につきましてご高配賜りますようお願い申し上げます。

敬 具